

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公表番号】特表2012-523364(P2012-523364A)

【公表日】平成24年10月4日(2012.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2012-040

【出願番号】特願2012-504843(P2012-504843)

【国際特許分類】

C 03 B 17/06 (2006.01)

C 03 B 33/02 (2006.01)

【F I】

C 03 B 17/06

C 03 B 33/02

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連続走行中のガラスシートの運動を抑制するためのシート抑制装置において、前記ガラスシートの両側縁にかかるアーム、

前記アームが前記ガラスシートから引き戻される引込み位置から前記アームが前記ガラスの近くにあって相互に位置合せされている取付け位置に前記アームを移動させる、前記アームに結合された駆動装置、

前記取付け位置において前記ガラスシートに接触する、前記アームに連結されたローラー、及び

前記取付け位置において前記アームの少なくとも一方に調節可能な制動力を印加して前記アームの変動を制動し、よって前記シートの変動を抑制する制動装置、を備えることを特徴とするシート抑制装置。

【請求項2】

前記制動装置が、空気圧シリンダーまたは油圧シリンダー内で可動であるピストンを有することを特徴とする請求項1に記載のシート抑制装置。

【請求項3】

前記制動装置が、前記制動力として渦電流を提供する磁石を有することを特徴とする請求項1または2に記載のシート抑制装置。

【請求項4】

フレームをさらに備え、前記アームが前記フレームに軸旋回可能な態様で取り付けられ、前記駆動装置が、一方の前記アームに連結された油圧シリンダーまたは空気圧シリンダー、及び他方の前記アームに連結された、前記シリンダー内で可動であるピストンから延びるピストンロッドを有し、前記ピストンロッドの延出しあり引込みが前記引込み位置と先記取付け位置の間で前記アームを軸旋回運動させることを特徴とする請求項1に記載のシート抑制装置。

【請求項5】

前記アームのそれぞれが、前記フレームに軸旋回可能な態様で取り付けられた第1のアーム部分及び前記第1のアーム部分に軸旋回可能な態様で取り付けられた第2のアーム部

分を有し、前記ローラーが前記第2のアーム部分上に保持されていることを特徴とする請求項4に記載のシート抑制装置。

【請求項6】

前記制動装置が、前記フレーム及び前記アームの内の1つの第1のアーム部分に連結された、前記シートの横方向変動による前記アームの変動を制動する、第1のダッシュポット、並びに前記第1のアーム部分及び前記アームの内の1つの前記第2のアーム部分に連結された、前記シートの角度変動による前記第1のアーム部分に対する前記第2のアーム部分の軸旋回変動を制動する、第2のダッシュポットを有することを特徴とする請求項5に記載のシート抑制装置。

【請求項7】

連續走行中のガラスシートの変動を抑制する方法において、
垂直方向に連續走行している、粘弾性領域及び弾性領域を有するガラスシートを提供する工程、

前記弾性領域において前記ガラスシートの両側縁上にアームを提供する工程であって、前記アームは、前記アームが前記ガラスシートから引き戻される引込み位置から、前記アームに連結されたローラーが前記ガラスシートに接触し、前記アームが位置合せされる取付け位置に、前記アームを移動させる駆動装置に結合されている工程、
及び

シーク段階において、前記ローラーが前記取付け位置において前記シートに接触し、前記アームが互いに位置合せされるまで、前記アームを移動させる工程、
を含み、

シート抑制段階において、前記シートの変動に応答して、前記変動を抑制する調節可能な制動力が前記アームに印加される、
ことを特徴とする方法。

【請求項8】

制動力を印加する前記工程が、油圧シリンダーまたは空気圧シリンダー内でピストンを動かす工程を含むことを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項9】

制動力を印加する前記工程が、前記シートの変動に応答して前記アーム上に抵抗性渦電流を誘起する工程を含むことを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項10】

前記アームを移動させる前記工程が、一方の前記アームに連結された油圧シリンダーまたは空気圧シリンダー及び、他方の前記アームに連結された、前記シリンダー内で可動であるピストンから延びるピストンロッドにより前記アームを軸旋回させる工程を含み、前記シリンダー内で前記ピストンロッドを動かして前記引込み位置と前記取付け位置の間で前記アームを軸旋回させる工程を含むことを特徴とする請求項7に記載の方法。